

図書館だより

第42号

2021年3月11日発行

姫路日ノ本短期大学図書館

あなたを待っている物語は

図書館長 教授 有方秀樹

日本では昔から、季節をあらわすことばとして、桜花爛漫、夏の暑い日差し、虫の音、彩り豊かな季節、そして、肌寒い季節の到来、白い世界などが言われています。

ところが、最近では「夏の暑い日差し」の次は、直ぐに「肌寒い季節の到来」となってきて いるようです。

今回卒業式を迎えるにあたり、本学学生たちの読書活動を通して、心の教育にご尽力いただ いております先生方の推奨される本を、ご紹介させていただきます。

さて現在、社会人における必要な読書の基礎、生涯学習における読書の習慣化の問題がよく 取り上げられています。

私たちは読書というと、いわゆる近・現代の名作を読むことなのかと思ってしまいがちです。 しかし、読書というのは、必ずしもそういうものではない。

このような時代であるからこそ、多様な領域の図書に目を配ること、自分の好きな作家や領域 を見つけることが大切であろうと考えます。

社会人の読書についてみると、最も多いものは、企業小説といわれる作品です。現代の社会 人の生き方を反映しているからなのでしょう。しかし、これらの作品は大学ではありません問題に されない。また、ノンフィクションの作品などに対する興味関心も十分とはいえない。しかし、 何事にも柔軟な思考を持つ大学時代にこそ、文学作品に限らず多領域の多様なジャンル作品への 興味関心をもつことが必要であると考えます。

少し、日本の読書活動の歴史を振り返ってみると、読書活動を推進しようという動きにつ いては、毎年、文化の日を中心とした2週間、読書週間として全国で様々な催しが展開されて います。昭和22年、戦後まもない頃、日本の人々の生活自体がままならなかつた時代、「読 書の力により平和な文化国家をつくろう」という熱い動きがありました。当時の出版社や書店、 公共図書館、新聞・放送などマスコミ等種々の機関も加わり、この年11月17日から第1回読 書週間が展開されました。以後活動は全国的にも定着し、本年度第74回目を迎え、10月27 日から11月9日までの2週間に読書普及を推進するための多彩な運動が全国で展開さ れました。

今年度は、「ラストページまで駆け抜けて」という野呂美由紀さんの標語が選ばれました。 「物語に引き込まれラストまで駆け抜ける。早く走り抜けても、のんびり歩いても。本は自 分のペースで読み進められます。道のりが困難でもゴールは待っていてくれる。あなたを待つて いる物語がきっとあると思います。」と語っていらっしゃいます。

次点3点には、「この1冊に出会えた幸せ」 藤本由美さん
「ページをめくる、私が変わる」 大嶋一範さん
「読むは一瞬、感動は一生」 五十嵐敏夫さん
の3作品が選ばれています。

私たちの一生で、自分を変える機会はどれ程あるのかを考えたとき、読書は、私たちに見知らぬ世界やものの考え方を教えてくれます。自分自身の人生の夢を育んでくれ、人生を決定づける邂逅をもたらしてくれます。文字にはそのような魅力があります。自分を変える多くの機会を本は与えてくれます。

今後とも本との様々な出会いが皆さんを変える契機となり、皆さんの豊かな人生を過ごす一助となりますよう願って止みません。

さて、あなたを待っている物語は。

(兵庫県学校図書館協議会顧問)

行ってみたい素敵な図書館！ 【ゆすはら雲の上の図書館】

司書 高橋 玉緒

最近では、一昔前の図書館のイメージを一新するおしゃれできれいな図書館が増えています。遠方からでも足を運びたくなるようなその図書館が高知県檮原町にあります。

新国立競技場を設計された今を時めく建築家“隈研吾”氏デザインの建物は地元の木材をふんだんに使った研吾氏の特徴的な温かみのある木組みの空間が素晴らしい、まるで森の中で読書をしているようだと評されます。

また、カフェやボルダリングスペースもあり、読書以外の楽しみ方もできます。町内には他にも多数研吾氏の建造物があり、観光モデルコースにも紹介されています。あなたも機会があれば一度訪れてみては。

<http://www.town.yusuhara.kochi.jp/kanko/kuma-kengo/town-library.html>



● 旧図書館から新図書館へ ●

司書 永野順子

現在の図書館は、学舎建て替えの為一時休館し「仮図書館」の運営を経て2019年9月に再開致しました。

再開移転作業は、先ず、学内の各保管場所から「約2000箱の段ボール」を移動するという大規模なもので2019年7月30日・31日・8月1日の3日間業者に依頼するとともに大学事務局や先生方の協力も得て、半分を図書館内に残りを閲覧室に積み上げ棚に並べる準備を行いました。その後も記念館からの運搬、棚に並べる作業についても高校・短大の先生方、職員、学生・高校生の方々にも協力をいただきました。

また、2020年8月には学生ボランティアをお願いし、未だ運び切れていた「クラブハウスの蔵書確認と運搬」という猛暑の中の過酷な作業は記憶に新しいところです。

そして現在も点検・配架の作業を続けています。

司書2人とも旧学舎解体後に参りましたので「旧図書館」の実情が分からず苦戦を強いられる中、思いがけない蔵書を多数発見し姫路日ノ本短期大学の歴史を痛感する毎日です。

ご協力下さいました皆様ありがとうございました。この場をお借り致しましてお礼申し上げます。



イトルが想像していた異世界からある時点で、がらりと色と姿を変える。この物語の発端は、宗家の皇后選びが本決まりになったこと。読み手を飽きさせない。時代を超えて普遍的な女性の本質を描いている。

八咫鳥シリーズとして「鳥は主を選ばない」「黄金の鳥」「空棺の鳥」「王依姫」「弥栄の鳥」がある。

池田京子 講師

『100%の前向き思考』

猪狩ともか（著）東洋経済新報社 2020

ISBN: 978-4492046609



『26歳のある日、強風で倒れた看板の下敷きになり、下半身不隨に。歩くことはもちろん、自力で立つことさえできなくなった。それでも「前を向き続ける」彼女には、自身を支える55の言葉があった。・・・』（キャッチコピーより）アイドルの正規メンバーとして活躍を始めておよそ1年、仕事が楽しくて充実していて、キラキラと輝く毎日を彼女は夢いっぱい過ごしていたことでしょう。そんな日々が、ある日突然、一瞬にして奪われてしまったら、あなたならどうしますか？車椅子生活を余儀なくされても、アイドルとして復活を遂げた彼女。落ち込んでしまったとき、彼女が書いたこの本から勇気をもらって欲しい。そんな思いでこの本を推薦します。

高橋玉緒 司書

『読みたいことを、書けばいい。』

田中泰延（著）ダイヤモンド社 2019

ISBN: 978-4478107225

これから就職活動や社会活動では、これまで学校で書いてきた作文とは違った手法で文章を書くことを要求される場面に多く遭遇することと思います。この本は、いわゆるハウツー本でもビジネス本でもありません。これは書くための考え方を提示する本です。

またWEB上で書かれた映画評論や対談記事、なんといっても元電通社員である著者の、就職活動エントリーシートなど読み物としても大変興味深いです。

書
く
い
た
い
こ
と
を
、

人生で笑わる
シナリオ文庫
田中泰延
余井重里

図書館の図書・DVDのリクエストについて

あなたの読みたい本や見たいDVDが図書館にない時は、「リクエスト申込書」に必要事項を記入して、カウンターに提出してください

できるだけみなさんの希望に応えていきたいと思っています。図書館の棚に並ぶまでに時間がかかりますので、急ぐものは早めに提出してください。

たくさんのリクエストをお待ちしています。

●推薦図書●

勝木洋子 学長

※書名、著者名、出版社、出版年、ISBN 番号を掲載しています

『女性の世界地図：女たちの経験・現在地・これから』

ジョニー シーガー、中澤 高志他（著） 明石書店 2020

ISBN:9784750350844

女性を主人公に見た世界のデータがならんでいます。見開きで図表が物語る世界は引き込まれていきます。世界を知ること、ジェンダーを学習することフェミニズムを感じることがあなたの生き方の軸を示唆してくれるでしょう。少し値段が高いですが、宝物になると思います。



濱田敏子 教授

『しげちゃん』

室井滋（作）長谷川義史（絵） 金の星社 2011

ISBN: 978-4323071565



「ねえ、お母さん、私、自分の名前、キレイ！もっと 可愛い名前に 変えよ」と思ったことはありませんか？

主人公のしげちゃんは自分の名前が嫌いだったが、子どもの幸せを願って親が名前を付けたことを知り好きになります。女優室井滋さんが名前にまつわるユーモラスなエピソードを綴り、長谷川義史氏が人情味豊かにおおらかな絵を描いた、読者の共感を呼ぶ、親の愛情が心に響く絵本です。

岩谷恵利子 教授

『子どもが育つ魔法の言葉 for the Heart』

ドロシー・ロー・ノルト（著） 石井千春/武者小路実昭（訳） PHP研究所 2001

ISBN: 978-4569617572

この本には、子育ての知恵、特に大切なエッセンスが集められています。
「毎日どんなことでもいいのです。子どもを誉めてあげてください」…。
元気が出て心が温かくなります。
保育者として、やがて親として子育てに関わる皆さん。私は、
指導につまずいたとき、また我が子の子育てに悩んだときに幾度となくこの本を開き心が元気になりました。きっと、これから子育ての中で大切なことを教えてくれるでしょう。とても読みやすく、その日の気分でページを開くと言葉がすっと心に響きます。

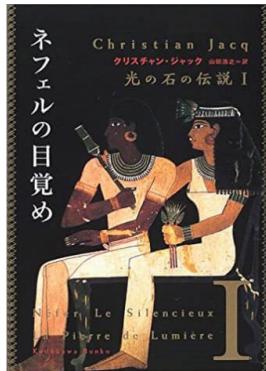


津田敏 教授

『ネフェルの目覚め』

クリスチャン ジャック (著) 山田 浩之 (訳) 角川書店 2002

ISBN: 978-4042836063



エジプトの王ラムセスの治世により平和を謳歌するエジプト。奥深く、砂漠の山間に、一握りの選ばれし者だけが住む、閉ざされた禁断の村“真理の場”が存在した。500年もの間、神聖なるファラオの墓所の建設を続け村。大麦を金に、物質を光に変える力を持つというエジプトの秘宝“光の石”を守り通してきたこの村に変化を迫る波が押し寄せていた。村の存続に野心を燃やす若者、秘宝と権力を我がものにせんと企む者…。野望が渦巻く“真理の場”を舞台に、壮大なエジプトの伝説が繰り広げられる。

『人生論ノート』

三木 清 (著) 新潮社; 改版 1978

ISBN: 978-4101019017

たつの市揖西町出身の哲学者

死について、幸福について、懷疑について、偽善について、個性について、など 23題——ハイデッガーに師事し、哲学者、社会評論家、文学者として昭和初期における華々しい存在であった三木清の、肌のぬくもりさえ感じさせる珠玉の名論文集。その多方面にわたる文筆活動が、どのような主体から生れたかを、率直な自己表現のなかにうかがわせるものとして、重要な意味をもつ。



『二つの祖国』(全4巻)

山崎 豊子 (著) 新潮社 2009

ISBN: 978-4101104454



真珠湾攻撃が行われた頃に、約 11 万 7 千人の日本人がアメリカ大陸に移民していた。

外国の土地を開拓し、同時に人生を切り開いて行こうとする移民者たちは、日・米どちらの味方になり、どちらを敵とするかの選択を迫られる。

同じ日系アメリカ人と言っても、一世か二世かで待遇や心情、それまでの生き方の違いは大きく、その選択肢も異なって来る。戦争を通して人について国について、いろんな視点で考える事ができる。

『出家とその弟子』

倉田百三（著） 岩波書店 2003

ISBN: 978-4003106716

日本で発達障害と診断されている人はおよそ48万人。そして、子どもの10人に1人は、何らかの障害を抱えています。人知れず学校や家庭でトラブルを抱え、孤独や苦痛に耐えながら生きる人たちと、児童精神科医のお話です。

一高在学中から西田幾多郎に傾倒し、宗教文学に一境地を拓いた倉田百三（1891-1943）の代表作。

浄土真宗の開祖親鸞を主人公として、生き方に悩む多くの若い人々の心を捉えた書。のち各国の言葉に訳され、海外にも数多くの読者を得る。ロマン・ロランのフランス語版への序文を付してある。改版。（解説=谷川徹三 注・年譜=鈴木範久）



中重直俊 准教授

『リエゾン ーこどものこころ診療所ー』（全3巻）

ヨンチャン（著） 竹村優作（原著） 講談社 2020

ISBN: 978-4065199053



日本で発達障害と診断されている人はおよそ48万人。そして、子どもの10人に1人は、何らかの障害を抱えています。人知れず学校や家庭でトラブルを抱え、孤独や苦痛に耐えながら生きる人たちと、児童精神科医のお話です。

私は歴史物とスポーツ漫画以外はあまり読まないのでですが、この話は続きが気になって仕方ありません。障害の有無に関わらず子どもというものの理解や、手助けの仕方などが学べるかと思います。

山本郁子 准教授

『鳥に単は似合わない』

阿部智里（著） 文藝春秋 2012

ISBN: 978-4163816104

2012年第19回松本清張賞受賞作品である。作者は当時弱冠二十歳の女子大生である。舞台は、やたがらす（八咫鳥）が支配する世界。金鳥と呼ばれる宗家の長が支配している。宗家の下には、宮鳥で構成されている東西南北の四の家があり、それぞれの役割が分担されている。人々は、普段は人の姿をしているが、一朝、事が起り何か飛び立つ必要がある時は、鳥の姿に変えることができる。この小説は、途中から思いもしない世界へ導いていく。タ

